



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2770地区第10グループ

三郷中央ロータリークラブ

# 週報

会長 伊藤 隆 幹事 浜田一夫

□第1009号 2011年10月11日 発行  
 □例会場 KTTレンタホール35  
 □今回内容 会員卓話  
 □本日のSAA 宮田博・山下勝矢  
 □会報・IT委員会 委員長 谷津茂男  
 田中欣一(副)・宮田博・浅賀紀一  
 □事務局 〒341-0022 三郷市大広戸733  
 TEL 048-953-7711・FAX 048-953-7070

◆本日のお客様 みさとシティハーフマラソン実行委員長 豊田幹雄様

◆例会次第 開会/我らの生業/会長挨拶/幹事報告/委員会報告/会員卓話/にこにこBOX/出席率発表/閉会

## ●会長挨拶 伊藤会長



皆さんこんばんは。だいぶ陽気も良くなってきました。昨日ゴルフしてきましたが、足にしびれがあり、踏ん張りが効かなくなってボールがあまり飛びませんでした。という訳で、野球大会の表彰式に出られず、代わりに牛尾さんに行っていました。本日は、みさとシティハーフマラソン実行委員長の豊田幹雄さんが来訪されております。

## ●幹事報告 浜田幹事

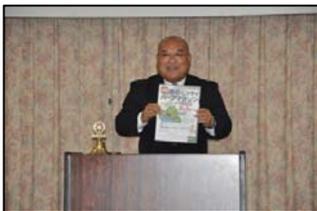
・地区の米山記念奨学委員会に講師の派遣依頼をしております。次回例会に来ていただけますので、皆さんの出席をお願いします。  
 ・この3連休を利用して中国に行ってきたのですが、博愛RCのオイルに会いました。その席上、博愛RCの記念例会と我がクラブの最終例会を合同で行う件で、最初四国という話だったのですが、東北の被災地ではどうだろうかと言う話をしましたが、乗り気ではないようです。それにかかなりの円高ですので、費用も嵩みますから、辛いです。これからも摺り合わせを続けていきますが、何か良い案がありましたら、提案してください。

### 次回例会のお知らせ

10月18日(火) 18:30～ 三郷市商工会館

## ◇◆ お客さま挨拶 ◆◇

みさとシティハーフマラソン実行委員長 豊田幹雄様



皆さんこんばんは。今年で43回を数えます、みさとシティハーフマラソンですが、ハーフマラソンになってからは9年目となります。今年成城大学の女子駅伝部が10Kmの部で参加することになりました。申し込みは11月1日からとなっております。皆様のご健勝をご祈念申し上げますと共に、協賛のお願いとさせていただきます。



## ○● 報告事項 ●○

### 親睦委員会 加藤英泉委員長



恒例の親睦例会を今月は25日、綾瀬の東京マリアージュで開催します。伊藤会長が打ち合わせに行っていたとのことですので、皆様、予定に入れておいて下さい。

### 牛尾エレクト

昨日、少年野球大会の表彰式に行ってきました。選手にメダルを掛ける数が多くて結構たいへんでした。私の子供も野球をやっておりましたので、懐かしく思いました

### 田中欣一会員

地区の管理運営部門セミナーの会員満足度調査の資料がきましたので、皆さんとやってみたくと思います。



田中会員のリードで出席会員全員でアンケート用紙に記入しました。結果は後日、公式訪問例会で発表するそうです。

## ○● 会員卓話 ●○

### 山下勝矢会員

(原稿がありませんので、要点を箇条書きさせていただきます)



「シンガポール」は日本と人件費が同じ  
 ・法人税が17%、所得税が30%(日本50%以上)  
 ・規制緩和が進んでいる。輸出入がスムーズ  
 ・日本には投資しない  
 ・F1開催中のホテル料金を倍にし、半分を政府が取る  
 「日本の今後の稼ぎ方」  
 ・ASEANで発展している企業、そこで稼ぐ  
 ・日本の税収は2～3兆円減っている  
 ・海外展開をし、得た利益を株の配当として日本に還流  
 ・1年前から95%が非課税

- ・ソニー、パナソニック、三菱銀行等500名の新卒者に対して、日本人250名、外国人250名
- ・日本人の新卒者の就職難
- 「シンガポールと日本の違い」
- ・日本は暗記力が必要
- ・シンガポールは発想力、ビジョン構成力を育てる
- ・リーダーシップ力を学ぶので、外国人を統率できる
- 「海外で富を稼げる人間が必要」



## 海外子会社・支店からの利益還流の背景

(経済産業省資料より抜粋)

今後の内外の人口増減を踏まえると海外市場の成長は我が国市場と比べて大きなものとなることは不可避であるところ、我が国経済にとって世界経済の成長の果実を国内の豊かさに結びつける好循環の確立が重要である。近年、我が国企業の海外生産比率が向上し3割にまで達するとともに、海外子会社の利益は2001年と比較して4倍超にまで大幅に増加している。こうした中、我が国企業は、これらの海外利益の多くを国内に資金還流させずに海外に留保する傾向がみられ、海外での内部留保額が急増している。毎年2~3兆円強が海外子会社に留保され、2006年度には約17兆円強の利益が内部留保されている。

こうした現状認識の下、我が国企業が強みを活かして海外市場で獲得する利益が過度に海外に留保され、競争力の源泉である研究開発や雇用等が国外流出しないよう、当該利益の国内還流に資する環境整備を行うことが喫緊の課題となっている。

現在の国際租税制度の下では、海外子会社利益を日本に資金還流すると国際的に高い水準にある日本の税率が適用される。また、現在の複雑な外国税額控除方式の下では、日本企業は税務上最も有利になる金額の範囲内で資金還流しているのが実態である。その結果、海外利益が長期に亘って過度に海外に留保されると、コストセンターであると同時に我が国の成長の源泉である研究開発や雇用が国外に流出してしまう懸念がある。

そこで、日本企業が、グループ全体の投資戦略や成長戦略の観点から、海外子会社の利益を必要な時期に必要な金額を国内に戻す上での税制上の障害を取り除き効率的かつ合理的なグループ経営を可能とするための事業環境整備として、国際租税改革が必要ではないかとの問題意識に基づき、経済産業省貿易経済協力局長の下、本年5月以降、4回にわたり国際租税小委員会を開催し、検討を重ねてきた。

<http://www.meti.go.jp/press/20080822002/20080822002.pdf>

## ●● 会員卓話 ●●

### 伊藤会長

(原稿がありませんので、要点を箇条書きさせていただきます)



- ・日本の大学生の海外進出率 4%
- 韓国 10% 台湾 10% 中国 16%
- 日本人は外国語が話せないの、行きたがらない
- ・外国で稼ぎ、配当を還流させているが、額は微々たるもの
- ・日本国民の24%は60歳以上の老人
- ・原宿の歩道橋は30年以上たって老朽化しているという原因もあるが、老人が渡れないので、横断歩道を作っている
- ・これからは老人主体の国づくりが必要
- ・今回の東北の震災で増税をする話があるが、敗戦後増税はせず(特別予算を組まないで)復興した
- ・東北の市では、日本各地に予備の市を作っておいて何かあったときには、そちらに移転する話も出る

## □■ にこにこボックス ■□ 発表者:山下会員



**伊藤会長:**みさとシティハーフマラソン実行委員長 豊田さんご苦労様です。牛尾さんありがとうございました。  
**浜田幹事:**8、9、10日と香港、珠海、マカオに行ってオイルさんと交流してきました。非常に楽しかったです。  
**浅賀会員:**最近ベルトが長くなり、5cm切りました。体調は凄いいです。  
**田中会員:**やっと引越し先が決まりました。会社の住所はスタジオとしてそのまま残るのでよいのですが、20年間溜め込んだ物が捨てても捨てても減らない。お陰で見つからなかった資料が出てきたりして、引越しもいいかも?  
**牛尾会員:**少年野球大会の閉会式に行ってきました。子供が少年野球、早稲田クラブに所属していたので、懐かしかったです。  
**その他奉仕者:**大井会員・加藤英泉会員・加藤地次会員・酒井会員・宮田会員・山下会員・谷津会員

## ●●● 出席率 ●●● 発表者:酒井委員長



本日 第1009回  
 会員数 18名 出席数 13名 欠席数 5名 免除 1名 MU 0名 72%  
 -----  
 前回 第1008回  
 会員数 18名 出席数 11名 欠席数 2名 免除 1名 MU 5名 89%  
 -----  
 前々回 第1007回  
 会員数 18名 出席数 16名 欠席数 0名 免除 1名 MU 2名 100%

\* 会報委員会からのお願い \*

卓話者はできる限り原稿の提出をお願いします